

いきものがかり・水野良樹と山下穂尊の 歌詞に関する文体的特徴分析

— 計量言語学的手法による —

富 永 愛

はじめに

本稿の目的は、J-POP グループ「いきものがかり」の主な作詞者である水野良樹と山下穂尊の使用語彙を機械的に分類することにより、両者の共通点と相違点を明らかにし、「いきものがかり」の歌詞創作の秘密を明らかにすることにある。

「いきものがかり」は2006年にメジャーデビューしたJ-POPグループである。その楽曲はNHK合唱コンクールの課題曲やオリンピックのテーマソング、ドラマや映画の主題歌などに起用され、老若男女を問わず聞かれている。彼らの楽曲は、まさにJ-POPの王道であると言えるだろう。その彼らが用いる言葉にはどのような特徴があるのかを明らかにする事で、幅広い層に求められ、好まれている楽曲とはどのようなものが明らかになると思い、この研究を始める事にした。

また「いきものがかり」は、ほとんどの楽曲がメンバーである水野良樹と山下穂尊の2人によって作られている。そのため2者の歌詞を比較することで、それぞれの作る楽曲の個別の特徴が見えるだけでなく、2者の共通点から「いきものがかり」の一般的な特徴も分析することが出来るのではないかと考えた。

第1章 計量言語学的分析

本稿では語彙の調査をするにあたって、伊藤雅光(2002)を参考に計量言語学的手法を用いる。

1.1 計量言語学について

計量言語学とはどのような学問であるかについて、伊藤(2002)では以下のように述べている。

計量言語学とは簡単にいえば、「統計的な方法をもちいて言語や言語行動の量的側面を研究する学問分野」ということになる。(p. 1)

語彙調査の結果に基づいて言語の量的構造を解明したり、文体統計の手法を使って、ある小説家の文体的特徴を明らかにしたり、また、社会言語学的立場から人々の言語使用の実態、つまり言語生活や言語行動を統計的手法で解明していく、などの研究がある。(p. 4)

本稿では、この計量言語学の手法に基づき、最終的に構造語彙表を作成することにより言語の量的構造を解明し、作詞者の文体的特徴を明らかにすることを目的としていく。

1. 2 作業手順

計量言語学的手法による歌詞の作業手順は次の通りである。

①ブレイン・テキストファイルの作成

歌詞をテキストファイル形式で入力する。

②単位語テキストファイルの作成

入力した歌詞を文節ごとにスラッシュで区切る。本調査では自立語のみを分析対象とするため、助詞や助動詞などの付属語は対象から外す。そのため、自立語を必ず一つ含む文節単位で区切るのである。

③見出し語情報(タグ)付テキストファイルの作成

見出し語の代表形、正書形を入力し、品詞情報も入力する。

④作詞者別、度数順語彙表の作成

見出し語の使用度数をエクセルを使って入力して自動集計し、見出し語を度数順に並べ替える。次に見出し語の「順位」と「比率(%)」を入力する。

⑤対照語彙表の作成

ある見出し語がどのテキストで何回使用されたかを一覧できるようにしたのが対照語彙表である。本稿での範囲とは作詞者である水野と山下の2範囲である。見出し語を度数順に並べ、その見出し語が使用されているテキストの範囲や範囲数、各範囲での使用度数、累積度数、累積比率などのデータが記載される。

⑥構造語彙表の作成

構造語彙表とは、ある語彙の使用度数を縦軸にとり、使用範囲を横軸にとった、クロス集計表と同じ構造をもつ語彙表で、多くのブロックから構成される。それぞれのブロックには、そのブロックの条件にあった見出し語のグループが対照語彙表からコピーされることになる。その結果、水野良樹と山下穂尊の共通語彙と特徴語彙とが機械的に分類されることになる（伊藤 2008）。

さて、以上の一連の作業で本稿のデータ精度を決定づけるのは②から③の作業である。これらの作業については全歌詞の全ての語について伊藤雅光先生のチェックを受けることができ、データ精度を上げることができた。

第2章 「いきものがかり」について

2.1 プロフィール

分析を進める前に、本稿で扱う「いきものがかり」とはどのようなアーティストであるかについて述べたい。Wikipedia より抜粋し以下に記載する。

「いきものがかり」は、日本の3人組音楽グループである。

メンバーは吉岡聖恵、水野良樹、山下穂尊である。バンド名は、結成した際の水野と山下の唯一の共通点が小学1年生時代に「生き物係」であったことに由来しており、その共通点を思い出した山下が提案して決まったものである。

2003年にインディーズ・デビューし、2006年にメジャー・デビューを果たす。全てのオリジナル曲はメンバーによって制作されている。3人の音楽のルーツはフォークソングやニューミュージック、歌謡曲などを含めた広義の「邦楽」であることから、作り上げる楽曲は王道のコード進行を用いたポップサウンドが特徴となっている。

2.2 対象楽曲

今回の調査では、「いきものがかり」が2006年にメジャーデビューしてから2013年までにリリースした楽曲のうち、水野と山下が作詞を行ったオリジナル曲を対象とする。メンバーの一人である吉岡聖恵が作詞を行った（あるいは関わった）楽曲については、曲数が7曲と非常に少ないため除外した。また、水野と山下の作品の比較を目的とするため、2者が共作した歌詞も対象外とした。

第3章 歌詞のテーマ

調査をするにあたって、まずは各楽曲の歌詞の内容を分析し、テーマごとに分類を行う。そして、「いきものがかり」がどのようなテーマの楽曲を歌っているのかを明らかにしていく。

3.1 テーマ分類の基準

「いきものがかり」の楽曲をテーマ別に分類したところ、「恋愛」、「友情」、「はげまし」、「その他」という4つのテーマに分類することができた。

3.2 歌詞のテーマ分類

「いきものがかり」の楽曲の歌詞を、4つのテーマ別に分類・集計したのが、以下の表1である。

表1 「いきものがかり」のテーマ分析・分類結果

	曲数	比率
恋愛	46	52.27%
友情	2	2.27%
はげまし	28	31.82%
その他	12	13.64%
計	88	100.00%

全88曲のうち46曲と、半数以上を「恋愛」をテーマにした楽曲が占めることが明らかとなった。次に多いのが28曲の「はげまし」である。「いきものがかり」の楽曲の中で一番多く歌われているテーマが「恋愛」であることが分かる。「恋愛」をテーマにした楽曲と「はげまし」をテーマにした楽曲を合わせると全体の80%以上を占めており、それ以外のテーマについてはほとんど作っていないことから、「恋愛」と「はげまし」という2つがいきものがかりの好むテーマであり、その特徴を分析する上で重要なテーマであることが判明した。

しかし、「恋愛」のテーマは、松任谷由実の歌詞調査（伊藤1997）で87.94%（表2）、DREAMS COME TRUEの歌詞調査（原2008）で91.25%（表3）であることと比較すると、4割ほど少ないことが分かる。つまり、「いきものがかり」の「恋愛」テーマはこの2人のアーティストよりも少ないのである。

また、池田（2009）によると、「恋愛」は女性が歌いやすく、作りやすいテーマであるのに対し、「応援歌」は男性が歌いやすく作りやすいテーマであり、「応援歌」は女性アーティストの作品には出現しにくいとしている（池田の「応援歌」は本稿の「はげまし」に相当する）。「いきものがかり」は主に男性が曲を作り女性が歌うという形式のグループであるが、これによると歌われる楽曲は男性的なテーマ分布になることが分かる。

表2 松任谷由実のテーマ分析表

テーマ	作品数	比率
恋	248	87.94%
友達	15	5.32%
土地	8	2.84%
自然	4	1.42%
その他	7	2.48%
計	282	100.00%

表3 DREAMS COME TRUEのテーマ分析表

テーマ	作品数	比率
恋	146	91.25%
家族	4	2.50%
応援歌	3	1.88%
友情	2	1.25%
人生	2	1.25%
その他	3	1.88%
計	160	100.00%

次に、作詞者別のテーマ分析を行った結果は表4のようになった。

表4 作詞者別テーマ分析表

	水野		山下	
	曲数	比率	曲数	比率
恋愛	27	62.79%	19	42.22%
友情	1	2.33%	1	2.22%
はげまし	10	23.26%	18	40.00%
その他	5	11.63%	7	15.56%
計	43	100.00%	45	100.00%

両者ともそれぞれの作る曲の中では恋愛をテーマにしたものが最も多く、続いて「はげまし」をテーマにしたものが多いことがわかる。しかし恋愛をテーマにした楽曲は山下が42.22%であるのに対し水野が62.79%と大きく上回っており、逆に「はげまし」をテーマにしたものは山下の40%に対し水野は23.26%と、大きく下回っていることがわかる。つまり水野の方が「恋愛」をテーマにした楽曲をより多く作っており、山下が「はげまし」をテーマにした楽曲をより多く作っているということになる。これを改めて池田（2009）の結果を参考にして考察すると、山下の楽曲が男性的で、水野の楽曲が女性的だという結論に達する。

第4章 歌詞の明暗

本章では歌詞の持つイメージが明るいか、暗いかを基準にして歌詞の明暗を分類し、分析を行っていく。なお、ここでの明暗とは、あくまで歌詞について分析するものであり、曲調の明暗は考慮しない。

4.1 明暗の分類と分析

歌詞の明暗を作詞者別に分類した結果が表5である。

表5 作詞者別明暗の分析表

	水野		山下	
	曲数	比率	曲数	比率
明るい	35	81.40%	33	73.33%
暗い	8	18.60%	12	26.67%
計	43	100.00%	45	100.00%

上記の結果から、水野が約80%、山下が約75%と、両者とも明るい楽曲を非常に多く作っていることがわかった。反対に暗い楽曲は2~3割程度と非常に少ないことがわかる。幅広い層に好まれる理由の1つが、明るい楽曲を非常に多く作っていることにあるのではないかと推察する。また、両者ともが明るい楽曲を多く作っていることから、「いきものがかり」の楽曲に「明るい」というイメージの統一感を持たせており、そこにこのグループの本質的な特徴があると考えられる。

第5章 「恋」の類型

この章では、4つに分けたテーマのうち「恋愛」をテーマにした楽曲に注目し、さらに細かく分類して、「いきものがかり」が歌う「恋愛」の楽曲について詳しく分析していく。テーマ分類において「恋愛」と分類した水野27曲、山下19曲の計46曲が対象である。

5.1 「恋」の類型分類

まず「恋愛」というひとつのテーマを、時間軸を基準に「過去」、「現在」、「未来」の3つのタイプに分類し、さらに伊藤(2013b)にならって、時系列順に「恋」のタイプを13の類型に分類した。なお、伊藤(2013b)では「過去未練型」、

「過去非未練型」、「過去片思い型」、「過去追憶型」、「現在進行型」、「現在不安型」、「現在片思い型」、「現在冷却型」、「現在再燃型」、「現在応援型」、「未来成就型」、「未来期待型」の12タイプに分類していたが、その12タイプでは分類できない楽曲があったため、上野（2008）を参考に、「現在未練型」というタイプを追加して設けた。「現在未練型」について上野（2008）では、次のように述べられている。

「現在未練型」は、「現在の恋」で「相思相愛」なのだが、今まさに意志とは反対に別れなければならない状態で、未練を多分に含んでいるケースを指す（p.15）

また、「過去未練型」と「現在未練型」の歌詞に見られる「時制」の違いについても述べている。「過去未練型」は過去形で、「現在未練型」は現在形で描写されているということである。以下の表6が、今回使用したテーマ体系である。時系列を考慮し、「現在未練型」をタイプ11とした。

表6 「恋」のテーマ体系

過去の恋	タイプ1 過去未練型
	タイプ2 過去非未練型
	タイプ3 過去片思い型
	タイプ4 過去追憶
現在の恋	タイプ5 現在進行型
	タイプ6 現在不安型
	タイプ7 現在片思い型
	タイプ8 現在冷却型
	タイプ9 現在再燃型
	タイプ10 現在応援型
	タイプ11 現在未練型
未来の恋	タイプ12 未来成就型
	タイプ13 未来期待型

上記のテーマ体系に沿って、「いきものがかり」の「恋愛」がテーマになっている楽曲を作詞者別に分類した。その結果が次の表7と図1である。

表7 作詞者別「恋」のテーマ体系

恋の体系	水野		山下	
	曲数	比率	曲数	比率
過去未練型	6	22.2%	7	36.8%
過去非未練型	2	7.4%	0	0.0%
過去片思い型	1	3.7%	1	5.3%
過去追憶型	0	0.0%	0	0.0%
過去進行型	13	48.1%	6	31.6%
現在不安型	0	0.0%	2	10.5%
現在片思い型	1	3.7%	2	10.5%
現在冷却型	0	0.0%	0	0.0%
現在再燃型	1	3.7%	0	0.0%
現在応援型	0	0.0%	0	0.0%
現在未練型	2	7.4%	0	0.0%
未来成就型	1	3.7%	1	5.3%
未来期待型	0	0.0%	0	0.0%
計	27	100.0%	19	100.0%

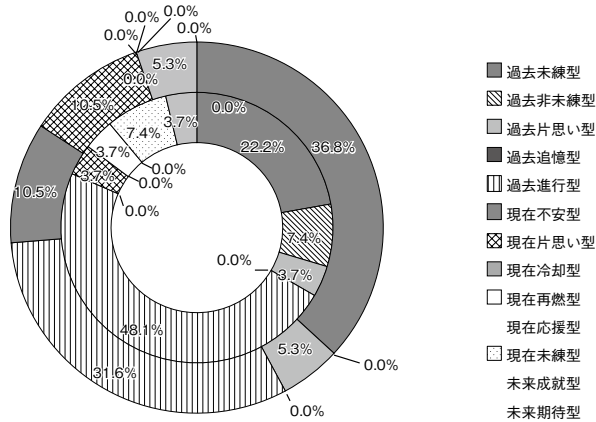


図1 作詞者別「恋」のテーマ体系

水野の作る「恋」の楽曲で一番多いタイプは「現在進行型」で、ほぼ半数を占めるという結果になった。次に多いタイプが「過去未練型」で、約22%であった。一方山下の楽曲では一番多いタイプが「過去未練型」で36.8%、2番目が「現在進行型」で31.6%と、ほぼ同じ割合であった。その他のタイプについては両者あわせても3曲以下しか作られていない。

ここから、水野と山下は一番目と二番目に多い楽曲のタイプがまったく逆だということが分かる。このことは、異なった性格の作詞者が同じグループで活動していることを意味しており、「いきものがかり」の創作の秘密を探るうえで、大変に興味深い事実と言える。

また、前節でいきものがかりの歌う「恋愛」がテーマになった楽曲は「過去」と「現在」がほとんどであると述べたが、「現在」の恋では相思相愛で不安のない「現在進行型」が、「過去」の恋では一度は相思相愛であったが別れてしまったものの、いまでも未練を残している「過去未練型」が最も多く作られているということがわかった。この2つは幸せな恋の歌と不幸せな恋の歌とも言えるだろう。対称的な2つのタイプの曲を作ることで楽曲の幅を広げていると考えることができる。

なお、追加して設けたタイプである「現在未練型」に分類される楽曲は2曲であったが、全て水野が作っているという結果であった。

第6章 語彙調査

本章では、水野と山下が作詞するいきものがかりの基本語彙と、それぞれの特徴語彙について分析を進めていく。

6.1 構造語彙表と構造度数分布表

構造語彙表の量は膨大であるため、そのサンプルだけを提示して説明を加えていくことにする。なお、表9は構造語彙表の各ブロックに所属する見出し語数を集計した構造度数分布表であるが、この表で全体の語彙量を俯瞰することができる。

表8 構造語彙表 (サンプル)

度数	累積比率	2者共通	1者のみ		合計
			水野	山下	
267 ~ 41	1.89% ~ 35.23%	いる【居る】動・補、きみ【君】名・代、ゆく【行く】動・補 (以下省略)	chu【chu】擬		61
40 ~ 21	~ 49.28%	かぜ【風】名、きづく【気付く】動、みる【見る】動 (以下省略)	we【we】名・代、wow【wow】感、joy【joy】名、yeah【yeah】感		68
20 ~ 11	~ 62.94%	うたう【歌う】動、たいせつだ【大切だ】形動、すべて【全て】名 (以下省略)	fun【fun】形、ぶぎうぎ【ブギウギ】名、あおい【青い】形 (以下省略)	かげ【影】名、とおく【遠く】名	132

(以下略)

表9 構造度数分布表

度数	累積比率	2者共通	1者のみ		合計
			水野	山下	
267～41	1.89%～ 35.23%	60	1	0	61
40～21	～49.28%	64	4	0	68
20～11	～62.94%	118	12	2	132
10～6	～74.87%	156	27	34	217
～5	～78.17%	60	19	14	93
～4	～82.05%	65	37	35	137
～3	～86.88%	78	56	93	227
～2	～92.19%	91	96	188	375
～1	～100.00%	0	466	636	1102
計		692	718	1002	2412

6.2 基本語彙の分析

6.2.1 構造語彙表から見た基本語彙

基本語彙とは使用頻度が高く、広範囲のテキストで使われている語彙のことである。そのため、2者共通のブロックに区分された見出し語が基本語彙の候補となる。そのうち頻度が高い見出し語ほど基本度が高いとすることができる。以上を踏まえて構造語彙表を分析すると、度数267～度数4の計523語が水野と山下が作詞する、「いきものがかり」の楽曲における基本語彙とすることができる。

しかしこれらの語彙の中には、ジャンルや作者によらず、どのような文章でも多用される語彙が含まれている。そのため、構造語彙表から見た基本語彙全てを「いきものがかり」特有の基本語彙とすることはできない。そこで、「いきものがかり」特有の基本語彙を抽出するため、伊藤（2012）の方法に従って、「阪本一郎の教育基本語彙」を基準に判定することとした。

この語彙表は旧版（阪本 1958）と新版（阪本 1984）とがあるが、本稿では新版の方を採用し、新版にない見出し語の場合だけ旧版の基本度記号を参照した。総語数は、旧版が24,741語で、新版が20,865語である。実際には国語研報告127に添付のCD版のデータベースを利用した。

どちらの語彙表においても、すべての見出し語に以下の学習段階の記号がつけられている。A（小学校第1～第3学年） B（小学校第4～第6学年） C（中学校）。

さらにそれらに優先順位の数字1～4が付されている。本稿ではこの学習段階を基本度に読み替えた。なお、語彙表に載っていない見出し語にはZを付けた。

6.2.2 基本語彙の分類

「阪本一郎の教育基本語彙」を基準に構造語彙表から抽出した基本語彙のうち、この語彙表のA、Bの段階として載っている語彙を一般的な基本語彙とし、Cの段階として載っている語彙及び語彙表に載っていない語彙を、「いきものがかり」特有の基本語彙として分類し分析する。構造語彙表から抽出した基本語彙523語を分類した結果が次の通りである。

表10 基本語彙の種別分析

	語数	比率 (%)
いきもの特有基本語彙	82	15.68
一般的基本語彙	441	84.32

いきもの特有基本語彙：こい【恋】名、ひたすら【只管】副、まほろし【幻】名、げんじつ【現実】名、じょうねつ【情熱】名、やどる【宿】動、こどく【孤独】名、いちずだ【一途だ】形動、みち【未知】名、いつしか【何時しか】副 他

一般的特徴語彙：いる【居る】動・補、きみ【君】名・代、ゆく【行く】動・補、この【此の】連体、いま【今】名、わたし【私】名・代、あなた【貴方】名・代、はく【僕】名・代、その【其の】連体、て【手】名 他

構造語彙表から抽出した基本語彙のうち、約84%が一般的な基本語彙であり、「いきものがかり」特有の基本語彙は約16%であった。つまり、「いきものがかり」の基本語彙のほとんどは一般的に多用される語彙であり、「いきものがかり」特有の基本語彙と言える語彙は極めて少ないということである。

6.3 特徴語彙の分析

6.3.1 構造語彙表から見た特徴語彙

特徴語彙とは、狭範囲で使われている語彙のことである。構造語彙表では右側の、「1者のみ」に分類されている語彙である。特に使用頻度が高いほどその範囲内の特徴をよく表している語彙である。構造語彙表では上にある語彙ほど特徴的な

語彙であると言える。しかし、本調査では扱う曲数が少ないため、構造語彙表の右上に分類された語彙だけでは数が十分ではなく、分析が困難である。そのため、特徴語彙の分析では1者のみに分類される全ての語彙を分析対象とした。よって、構造語彙表から見た水野の特徴語彙は718語、山下の特徴語彙は1002語である。

6.3.2 特徴語彙の分類

水野と山下の特徴語彙を構造語彙表から抽出したが、ここには一般的によく使われる語彙も含まれている。そのため、基本語彙と同様、「阪本一郎の教育基本語彙」を基準に、より両者の特徴を表している語彙を抽出する。分類方法は6.2.2に記述したものと同様である。

表11 水野特徴語彙の種別分析

	語数	比率 (%)
水野特有特徴語彙	373	51.95
一般的特徴語彙	345	48.05

水野特有特徴語彙：せいしゅん【青春】名、せつな【刹那】名、ときめく【時めく】動、あしらう【あしらう】動、いどむ【挑む】動、うそぶく【嘯く】動、おもむく【赴く】動、かいかん【快感】名、かくめい【革命】名、けつまつ【結末】名 他

一般的特徴語彙：あおい【青い】形、さくら【桜】名、はなす【離す】動、ゆっくり【ゆっくり】副、いちばん【一番】副、ぜんぶ【全部】名、うなずく【頷く】動、えき【駅】名、たかい【高い】形、ちゃんと【ちゃんと】副 他

表12 山下特徴語彙の種別分析

	語数	比率 (%)
山下特有特徴語彙	482	48.10
一般的特徴語彙	520	51.90

山下特有特徴語彙：うれしい【憂い】名、そんざい【存在】名、ゆだねる【委ねる】動、かなでる【奏でる】動、かわす【交わす】動、そぞろだ【漫ろだ】形動、そんざいする【存在する】動、たたずむ【佇

む】動、まひる【真昼】名、おぼつかない【覚束ない】形 他
 一般的特徴語彙：かげ【影】名、とおく【遠く】名、そまる【染まる】動、むかう
 【向かう】動、あまい【甘い】形、うち【内】名、しずむ【沈む】
 動、み【身】名、した【下】名、うえ【上】名 他

上記の結果から、構造語彙表から抽出した特徴語彙のうち、約半数は一般的な特徴語彙であることがわかった。基本語彙の場合は、約84%が一般的な基本語彙であったので、ほとんどがいきものがかりの特徴を表す語彙ではなかった。しかし特徴語彙ではその半数が水野、山下それぞれの特徴的な語彙であるため、2者の特徴をよく表していると言える。

第7章 その他の調査

7.1 語数の調査

ここでは歌詞の語数について調査することによって、特徴を分析していく。

表 13 作詞者別語数

	水野	山下
延べ語数	6931	7180
異なり語数	1409	1694
TTR	0.203290	0.235933

表 14 明暗から見た作詞者別語数

	水野		山下	
	明るい	暗い	明るい	暗い
延べ語数	5666	1265	5380	1800
異なり語数	1269	446	1380	768
TTR	0.223968	0.352569	0.256506	0.426667

TTR (Type-Token Ratio) とは、語彙の豊かさを指す指標である。TTR は「異なり語数 (k) ÷ 延べ語数 (n)」で求められ、TTR が大きいほど語彙が豊富だということを意味する。

表 14 から、水野、山下ともに、明るい楽曲の TTR の方が暗い楽曲の TTR に比べ小さいということがわかる。つまり、明るい楽曲よりも暗い楽曲の方が色々な言葉を使っており、歌詞の情報量が多いということである。これは、明るい楽曲には歌詞のリフレインが多く出現するためではないかと考えた。

そこで、本当に明るい楽曲と暗い楽曲でリフレインの数に差があるのかどうかを実際に調査してみた。以下の表がその結果を示したものである。

表 15 作詞者別リフレイン数
(括弧内は曲数で割った結果)

	水 野	山 下
明	420 (12)	189 (5.73)
暗	70 (8.75)	43 (3.58)

上の表から、明るい楽曲の方が暗い楽曲に比べリフレイン回数が多いということがわかる。暗い楽曲の語数が明るい楽曲よりも多くなる原因がリフレインにあることがこれによって証明された。

なお、「明るい楽曲ではリフレイン回数が多い傾向がある」という御示唆は伊藤雅光先生からいただいたものである。

7.2 品詞構成比率の分析

本節では、歌詞の品詞構成比率について分析していく。見出し語のみを対象とし、名詞（代名詞、連語を含む）、動詞（可能動詞、文語体、補助動詞、補助可能動詞を含む）、形容詞（文語体、補助形容詞、連語を含む）、形容動詞、副詞（連語を含む）、連体詞、接続詞、感動詞、擬音詞の9つに分類した。擬音詞については、今回の調査で新たに設けた品詞であるが、伊藤雅光先生からの御示唆による。普通、擬音語は副詞と認定されるが、係る先のない、独立して使われている擬音語を擬音詞とする。例えば「女神（Venus）だって Chu Chu Chu Chu」（「KISS KISS BANG BANG」より）という歌詞の「Chu」という擬音語は、後ろの語を修飾しているわけではない。このような語彙を擬音詞とするのである。

以下の表 16 が品詞分類を行った結果である。なお、数値は全て延べ語数である。

表 16 品詞構成比率

	名	動	形	形動	副	連体	接	感	擬	計
水野	2851 (41.13%)	2371 (34.21%)	414 (5.97%)	228 (3.29%)	463 (6.68%)	203 (2.93%)	36 (0.52%)	310 (4.47%)	55 (0.79%)	6931
山下	3203 (44.61%)	2524 (35.15%)	342 (4.76%)	227 (3.16%)	580 (8.08%)	222 (3.09%)	43 (0.60%)	39 (0.54%)	0 (0.00%)	7180

歌詞中の品詞の比率を見ると、両者とも名詞が約 45%、動詞が約 35%と、圧倒的に高い割合で存在するという結果になった。これは、日本語の文章においてはど

のようなテキストでも見られる現象である。名詞と動詞は文の骨組みとなる品詞だからである。「いきものがかり」の歌詞においても他のテキストと同じような比率になるということが確認できた。

注目すべきは感動詞と擬音詞である。その他の品詞は水野と山下ではほぼ同じ割合であるにも関わらず、感動詞は、水野が約4%であるのに対し、山下は1%にも満たない割合で、その差は8倍以上である。水野の歌詞では感動詞を多く使うという特徴が導き出される。擬音詞に関しては、水野の割合も1%と非常に少ないが、山下は1語も使っていないことに注目すると、歌詞内で擬音詞を使うことも水野の特徴であると言えるだろう。

実際の歌詞から、どのように使われているのかをしてみる。

○感動詞（「ばばば～や」より一部抜粋）

ばばば～や ばばば～や

愛と情熱の SPARK! ハモリあって恋をしたいや

揺れたいや なんだかんだいって好きなんだ

愛の 愛の 愛の ばばばばば～や

wow wow ばや wow wow ばや wow wow ばや

○擬音詞（「KISS KISS BANG BANG」より一部抜粋）

女神（Venus）だって Chu Chu Chu Chu

恋愛（Koi）に踊って Chu Chu Chu Chu

ときめくよな愛情（Love） ころろに感動（Good） 感じ合いたいから

女神（Venus）だって Chu Chu Chu Chu

接吻（Kiss）をしたいよ Chu Chu Chu Chu

このように、一曲中で何度も感動詞や擬音詞を使うことで、印象に残り、口ずさみたくなるような歌詞にする効果や、ノリの良い歌詞にする効果があると考えられる。水野の楽曲はCMなどのタイアップ曲となっているものが多いため、リスナーの心を掴むために感動詞や擬音詞を使っていると考えられることができる。

7.3 外国語使用の分析

「いきものがかり」は歌詞内で外国語を多く使用することが、6.1の語彙表から

わかった。外国語が使われる楽曲にも特徴があるのではないかと考え、調査を行った。使われた外国語を楽曲の明暗によって分け、五十音順の語彙表を作成して分析を行った。以下がその結果である。

表 17 明暗別外国語使用の分析 (括弧内は曲数で割ったもの)

	水野明	水野暗	山下明	山下暗
外国語 延べ語数	505 (14.4)	0 (0.00)	168 (5.09)	32 (2.67)
外国語 異なり語数	77 (2.20)	0 (0.00)	45 (1.36)	10 (0.83)

水野は、明るい楽曲では外国語を多く使用しているが、暗い楽曲では一度も使っていないということがわかる。山下については、暗い楽曲でも外国語の使用は認められるが、明るい楽曲の方が延べ語数では約2倍、異なり語数では約1.6倍多く使われている。つまり、「いきものがかり」の楽曲において、外国語は明るい楽曲に出現しやすいということが言える。特に水野にその傾向が強く、暗い楽曲では外国語を使わないよう徹底しているとも言えるであろう。

なお、「明るい楽曲では外国語を多く使用する傾向がある」という御示唆は伊藤雅光先生からいただいたものである。また、新人のアーティストほど外国語を多く使い、ベテランになるにしたがって外国語が減っていく傾向があるという御示唆もいただいたが、今回はその視点を生かすことができなかった。今後の課題としたい。

第8章 考察

本稿では、「いきものがかり」の楽曲に見られるテーマ分布や基本語彙と特徴語彙を分析してきた。その結果明らかになったことは以下の通りである。

○水野良樹と山下穂尊の共通点 (= 「いきものがかり」全体としての特徴)

- ・「恋愛」をテーマにした楽曲と「はげまし」をテーマにした楽曲が全体の80%以上を占めており、これら2つが「いきものがかり」の好むテーマであると言える。
- ・「恋愛」をテーマにした楽曲の中では「現在進行型」と「過去未練型」という対照的な2つのタイプが多く歌われている。
- ・両者とも明るい歌詞の楽曲が非常に多い。このことが幅広い層に好まれる理由であると言える。

- ・明るい楽曲では暗い楽曲に比べリフレイン回数が多いという特徴がある。
- ・明るい楽曲での外国語使用率が高く、暗い楽曲ではあまり使われていないという特徴がある。

○水野良樹と山下穂尊の相違点 (=それぞれの特徴)

- ・水野は「恋愛」をテーマにした楽曲がより多く、女性的なテーマ分布で、山下は「はげまし」をテーマにした楽曲がより多く、男性的なテーマ分布である。
- ・水野と山下は一番目と二番目に多い恋愛の楽曲のタイプがまったく逆である。
- ・水野は感動詞や擬音詞を多く使用することで人々の心を掴んでいると考えられる。

以上の共通点には「いきものがかり」というグループの一般的な特徴が見られるのに対し、相違点には水野と山下の個別的な特徴が見られる。とりわけ、相違点は異なった性格の作詞者が同じグループで活動していることを意味しており、このような点に「いきものがかり」の創作の秘密があるのではないかと考えている。

おわりに

本調査では、日頃から感じていた「いきものがかり」の作詞者2名の違いを明確化することができ、非常に有意義なものであったと感じる。また、分析を進める内に、こういった調査も面白いのではないか、こういった視点から見ることはできないかと、次々に研究したいテーマが増え、歌詞研究がいかに奥深く、幅広い可能性を秘めているものであるかを実感した。

一方で、語の単位や品詞認定の基準を決める作業に想像以上の時間をとられてしまい、分析にかける時間が削られてしまったことを悔いている。当初予定していたテーマ別の語彙調査や語種分析、楽曲タイトルの分析など、やり残したこともある。また、「いきものがかり」に対する世間のイメージについてアンケートを取り、実際の楽曲との比較もするとさらに興味深い分析ができるのではないかと考えた。これらのことは今後の課題としていきたい。

最後になりましたが、本研究を進めるにあたり、お忙しい中多くのご指導をいただいた伊藤雅光先生に心より御礼申し上げます。

【参考文献】

- 池田侑加 (2009) 「現代流行歌の歌詞における語彙の計量的分析」 東京女子大学卒業論文
- 伊藤雅光 (1997) 「ユーミンの言語学」『日本語学』16 卷 7 号 明治書院
- 伊藤雅光 (2002) 『計量言語学入門』大修館書店
- 伊藤雅光 (2013) 『計量言語学入門』副読本』大修館書店
- 伊藤雅光 (2008) 「語彙の量的構造史モデル」『日本語の研究』3 卷 5 号 日本語学会
- 上野小百合 (2008) 「ゆずの歌詞における語彙の計量的分析—「恋の唄」の基本語彙と特徴語彙の抽出—」 東京女子大学卒業論文
- 国立国語研究所 (2009) 『教育基本語彙の基本的研究』 明治書院
- 阪本一郎 (1958) 『教育基本語彙』 牧書店
- 阪本一郎 (1984) 『新教育基本語彙』 学芸図書
- 原有貴子 (2008) 「DREAMS COME TRUE 吉田美和の歌詞における語彙の計量的分析」 東京女子大学卒業論文

【参考資料】

- 伊藤雅光 (2011a) 「第 16 章 パソコン演習 8—対照語彙表の作り方・J-POP 篇・2 テーマ用」
2011 年 6 月 24 日初版プリント
- 伊藤雅光 (2011b) 「構造語彙表の作り方・J-pop 篇」 2011 年 6 月 24 日初版プリント
- 伊藤雅光 (2012a) 「阪本一郎の教育基本語彙表」 2013 年 12 月 6 日入手
- 伊藤雅光 (2012b) 「第 16.5 章 パソコン演習 8.5—語彙の基本度の付加・J-POP 篇・2 テーマ用」
2012 年 11 月 26 日初版プリント
- 伊藤雅光 (2013a) 「第 2 章 ユーミンの 40 年—書誌学」 2013 年 4 月 26 日配布プリント
- 伊藤雅光 (2013b) 「第 3 章 ユーミンは何を歌ってきたか—恋の類型論」
2013 年 5 月 2 日配布プリント
- 北原保雄 (2011) 『明鏡国語辞典第二版』 大修館書店
- いきものがかり OFFICIAL WEB SITE より DISCOGRAPHY
(<http://ikimonogakari.com/discography/>) 2013 年 11 月 3 日閲覧
- Wikipedia よりいきものがかりの項
(<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%81%84%E3%81%8D%E3%82%82%E3%81%A%E3%81%8C%E3%81%8B%E3%82%8A>) 2013 年 11 月 1 日閲覧
- うたまっぷ歌詞 (<http://www.utamap.com>)
- ORICON STYLE 第 10 回 「2 万人が選ぶ“好きなアーティストランキング”」
(<http://www.oricon.co.jp/news/2030101/full/>) 2013 年 12 月 3 日閲覧
- いきものがかりのオリジナルアルバム 6 作、ベストアルバム 2 作

(とみなが あい 2014 年日文卒)